

以下、本文-----

当施設における表在型食道胃接合部腺癌の臨床病理学的特徴の年次推移の検討に関する研究

1. 研究の対象

2006 年 1 月から 2017 年 12 月までに当院で早期の食道胃接合部がんに対して、内視鏡治療および手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

米国および西欧諸国においては、過去数 10 年間で食道胃接合部がんの発生率が劇的に増加しているとされています。食道胃接合部がんの多くは、バレット食道を背景に発生するバレット食道がん、ピロリ菌感染に伴う慢性胃炎を背景に発生する胃噴門部がんですが、生活スタイルの欧米化およびピロリ菌感染率の低下に伴い、本邦でもバレット食道がんの増加が見込まれています。しかし、本邦における食道胃接合部がんの年次推移に関する報告はまだ少なく、また食道胃接合部がんを占めるバレット食道癌と胃噴門部がんの比率やその特徴についての年次推移に関する報告はまだありません。

日本国内には食道胃接合部癌に関するがん登録データはなく、そこで、当施設における早期の食道胃接合部がんの臨床病理学的特徴の年次推移を調べ、特定の傾向がみられないか検討しました。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：病歴、放射線治療の治療歴、カルテ番号、内視鏡画像、病理報告書 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 消化管内科 石原 立／松野 健司

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1900

様式第 1-4 (2018. 4. 1 版)

研究責任者：大阪国際がんセンター 消化管内科 石原 立

-----以上